

令和3年9月21日

保護者様

横浜市立川和東小学校
校長 高島 聡

令和3年度「あゆみ」の見方について

キンモクセイの花がさわやかに薫る今日この頃、保護者の皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。日頃より本校の教育活動、特に感染防止につきましてご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、新学習指導要領に基づいた評価につきましては、昨年度に新しい評価の観点に基づいた学習評価を保護者の皆様に文書と動画でご説明させていただきました。実施2年目の今年度は、学習の状況をご家庭やお子様によりわかりやすくとらえていただけるよう「あゆみ」の形式を変更したところがあります。今年度も新しい評価の観点などについてご理解いただき、お子様が学習や学校生活を振り返り、改善していくための、「道標」として役立ていただければと思います。

あゆみは、前期終了時に「中間」・学年末修了時に「学年末」として、それぞれA4版の用紙でお渡しします。「あゆみ」はご家庭で保管いただき、今後の学習に生かしてください。「中間」は4月から9月までの評価になり、「学年末」は一年間を通した評価とともに評定も表記します。

※この文書とあわせて川和東小学校 YouTube チャンネルに「令和3年度 川和東小学校 学習評価説明会」の動画をアップしました。ご覧いただければ幸いです。

メール配信でお知らせしました

【評価について】

1. 観点別学習状況評価の各観点

(1) 「知識・技能」の評価

各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況について評価します。

(2) 「思考・判断・表現」の評価

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力・判断力・表現力等を身に付けているかどうか評価します。

(3) 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかを評価します。

2. 外国語の評価

5・6年生は「外国語」の目標にどれだけ到達できたかを観点ごとに3段階で評価します。

【昨年度からの変更点】

○「特別な教科 道徳」(全学年)と「総合的な学習の時間」(3～6年生)の記述について

→3, 4をご覧ください。

○「外国語活動」(1～4年生)については

→2をご覧ください。

1 各教科の学習のようす

(1) 観点別の「学習状況」～「中間」・「学年末」とともに表記

「学習状況」は、他のお子様との比較ではなく、各教科の目標にどれだけ到達できたかを観点ごとに3段階で評価しています。表記は次の通りとなります。

目標に対して十分満足できると判断されるもの・・・A
目標に対しておおむね満足できると判断されるもの・・・B
目標に対して努力を要すると判断されるもの・・・C

※第1学年「中間」については基礎的な学習内容が中心のため、BとCの評価とし、A評価は適用しません。

(2) 評定～「学年末」のみに表記

「評定」は、第3学年以上の各教科の学習状況について、各教科の目標にどれだけ到達できたかを総合的に判断し、3段階で評価しています。表記は次の通りとなります。

目標に対して十分満足できると判断されるもの・・・3
目標に対しておおむね満足できると判断されるもの・・・2
目標に対して努力を要すると判断されるもの・・・1

2 YICA のようす

YICAとは、「横浜国際コミュニケーション活動」のことで外国語活動と国際理解教室があります。1～4学年は、外国語の観点別学習状況評価の各観点がありません。そこで、「外国語活動」や「国際理解教室」で取り組んでいる学習のようすについて文章でお伝えするために、「中間」に欄を設けました。

3 総合的な学習の時間のようす

「総合的な学習の時間」で取り組んできた活動の様子について文章で記述しています。一年間を通して学習したことや活動のようすを文章でお伝えするために3～6学年は、「学年末」に欄を設けました。

4 特別の教科 道徳のようす

「特別の教科 道徳」で取り組んだ学習の様子について文章で記述しています。一年間を通して学習した様子を記述でお伝えするために全学年、「学年末」に欄を設けました。

5 特別活動のようす

学級活動・児童会活動（5・6学年の委員会活動を含む）・クラブ活動（4年以上）・学校行事ごとに評価の規準に照らして「十分満足できる状況にあると判断される場合」には状況欄に○印が付けられています。空欄は記載漏れではなく「おおむね満足できる状況にあると判断される場合」と解釈してください。

6 行動のようす

「行動のようす」は、学習活動及び学校生活全体にわたって認められる行動の様子について観点ごと評価の規準に照らし「十分満足できる状況にあると判断される場合」は状況欄に○印が付けられています。空欄は記載漏れではなく「おおむね満足できる状況にあると判断される場合」と解釈してください。

7 総合所見

学習や生活の様子について、がんばったこと、努力を要することなど総合的に文章で記述しています。

8 その他

(1) 出欠席のようすについて

「出欠席のようす」は、「中間」は4月から9月、「学年末」は10月から3月までの記録について出欠席連絡票（A4版）を使用してお知らせいたします。お渡しします出欠席連絡票はご家庭で保管ください。

(2) 個別支援級のあゆみについて

個別支援級のあゆみは、より具体的な達成目標を設定した、記述中心の別形式のものとなります。

【各教科等の観点内容】

※以下の内容をもとに各学年で各教科・単元ごとに評価観点を設定して授業しています。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
国語	日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつよさを認識しようとしているとともに、言語感覚を養い、言葉をよりよく使おうとしている。
社会	地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解しているとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べままとめている。	社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり、考えたことや選択・判断したことを適切に表現したりしている。	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとしている。
算数	数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解している。 日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けている。	日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き粘り強く考えたり、学習を振り返ってよりよく問題解決しようしたり、算数で学んだことを生活や学習に活用しようしたりしている。
理科	自然の事物・現象についての性質や規則性などについて理解しているとともに、器具や機器などを目的に応じて工夫して扱いながら観察、実験などを行い、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、それらを表現するなどして問題解決している。	自然の事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしているとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
生活	活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付いているとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現している。	身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学ぼうしたり、生活を豊かにしたりしようとしている。
音楽	曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解している。 表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌ったり、	音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取った	音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組む

	演奏したり、音楽をつくったりしている。	こととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見だし、音楽を味わって聴いたりしている。	うとしている。
図 工	対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解している。 材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりしている。	形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考えるとともに、創造的に発想や構想をしたり、作品などに 対する自分の見方や感じ方を深めたりしている。	つくりだす喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
家 庭	日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
体 育	各種の運動の行い方について理解しているとともに、基本的な動きや技能を身に付けている。また、身近な生活における健康・安全について実践的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	自己の運動の課題を見付け、その解決のための活動を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、身近な生活における健康に関する課題を見付け、その解決を目指して思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動に進んで取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自己の健康の保持増進についての学習に進んで取り組もうとしている。
外 国 語	外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解している。 読むこと、書くことに慣れ親しんでいる。 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、音声で十分慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読みたり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。